

豊かなこころの育成

～道徳の教科化・授業改善に向けて～

学校教育課通信

平成27年12月18日(金) 第118号

編集・発行: 県南教育事務所 佐藤 晃

「特別の教科 道徳」に向けて

平成27年3月27日に学習指導要領の一部改正が公示され、「特別の教科 道徳」(以下道徳科)の内容が示されました。また、7月には「学習指導要領解説(総則編・特別の教科道徳編)」も文科省ホームページで公開され、改訂の経緯や基本方針、要点などについても明示されました。

小学校では平成30年度から、中学校では平成31年度から全面実施されますが、移行措置では「その一部または全部について改正後の規定によることができる」とあります。改訂の経緯や実施に向けての取組については、県義務教育課からの「道徳のかけ橋」でお知らせしていますので、ここでは改訂のポイントや、目標・内容・指導について簡潔にまとめたものを紹介いたします。

これらの内容をよく理解してこれから道徳教育の充実に向けて取り組んでいきましょう。



目標について

◇ 道徳教育の目標 → 「道徳性を養う」ことの明確化

道徳教育は、(中略)自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うこと

◇ 道徳科の目標

(現行) 道徳的実践力を育成する。



(改正後) 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

内容について

◇ より体系的なものとする観点から3の視点と4の視点を入れ替える。

◇ 内容項目に応じたキーワードを併せて示す。

◇ いじめ問題への対応

- ・「公正・公平、社会正義」の内容項目を小学校低学年・中学年にも追加
- ・「善悪の判断、自律、自由と責任」「正直、誠実」「親切、思いやり」「感謝」の内容項目を視点の前半に位置付ける

◇ 内容項目の数

小学校 低16→19 中18→20 高22→22
中学校 24→22

〈改訂のポイント〉

- 1 「道徳」を「特別の教科 道徳」(道徳科)として位置付ける。
- 2 目標を明確で理解しやすいものに改善する。
- 3 道徳の内容をより発達の段階を踏まえた体系的なものに改善する。
- 4 多様で効果的な道徳教育の指導方法へと改善する。
「考え、議論する道徳」への転換
- 5 検定教科書を導入する。
- 6 一人一人のよさを伸ばし、成長を促すための評価を充実する。

※評価の在り方については文科省の専門家会議で検討中

道徳科の指導について

◇ 学習指導の多様な展開

- 多様な教材を生かした指導
 - ・伝記、実話、意見文、物語、詩、劇など多様な資料
 - ・感動、迷いや葛藤、知見や気付き、批判的な見方
- × 値値觀を一方的に教え込む
- × 登場人物の心情理解に偏る
- 道徳的価値を自分との関わりで考え、物事を多面的、多角的にとらえる。
- 問題解決的な学習、体験的な活動など多様な指導方法を工夫する。

◇ 道徳科に生かす指導方法の工夫

- ・教材提示の工夫
- ・発問の工夫
- ・話し合いの工夫
- ・書く活動の工夫
- ・動作化、役割演技の工夫
- ・板書を生かす工夫
- ・説話の工夫



自校の道徳の取組をチェック

各校では、来年度へ向けての教育課程編成作業が始まっていることと思います。道徳の取組についても、県南教育事務所の平成27年度指導のポイント「道徳」をもとにふり返ってみましょう。

- 全体計画「別葉」の作成・見直しを行う。
- 各学校の実態をふまえ、具体的で実効性のある指導計画を作成する。
- 多様な指導方法（授業展開、発問、資料の活用、板書、体験的な活動など）を工夫し、道徳の授業改善に努める。
- 道徳教育推進教師が中心となり、組織的、計画的な道徳教育を実践する。
- 副読本や「私たちの道徳」とともに、「ふくしま道徳教育資料集」を積極的に活用する。（生命の尊重や感謝の心、郷土愛など）
- 保護者や地域の人々の授業への参加（ゲストティーチャー等）や参観の機会を大切にする。



平成27年度 道徳教育総合支援事業 道徳教育推進校 授業公開及び講演会

平成27年9月14日(月)
鮫川村立鮫川小学校

9月14日に道徳教育推進校の鮫川小で授業公開及び講演会が行われました。

公開授業では、4年生が「感謝する心（尊敬、感謝）」、6年生が「自分のよさを生かす（個性の伸長）」の授業が行われ、それぞれ手立てを工夫して児童の多様な考えを引き出し、真剣に考え方話し合うすばらしい授業が展開されました。

また、講演会では上越教育大学副学長 林 泰成 先生から「これからの道徳教育」の演題で、道徳の教科化へ向けた動きやモラルスキルトレーニングなどについて示唆に富んだ講演をしていただきました。

【4年生 道徳 指導者：武田 妙子 先生】

主題名 感謝する心（尊敬、感謝）

資料名 「がんばらやんばい」ふくしま道徳教育資料集 第Ⅱ集

- 資料の構成意図をくんだ資料提示、発問の工夫がされていました。それぞれの登場人物の視点に立った発問を行い、児童のつぶやきや多様な考えを引き出し、それぞれの考え方を深めながら授業を進めていました。
- 終末では、生活を支える身近な人からの手紙を紹介して、自分たちの生活のために働く様々な人々の存在に気付かせ、感謝の気持ちが持てるようにしていました。



【6年2組 道徳 指導者：関根 陽子 先生】

主題名 自分のよさを生かす（個性の伸長）

資料名 「勇太への宿題」文部省資料「主として自分自身に関すること」

ゲストティーチャー：高木満理子 様（口笛奏者）



- 発問を2つに絞り、意図的指名やゆさぶり、切り返しの発問をしたことで児童の考え方が関連し合い、話し合いが深まっていました。
- 終末では、ゲストティーチャーの高木さん（口笛奏者）から、口笛に出会って自分に自信が持てるようになった話を聞いたり、「ルパン三世のテーマ」の口笛演奏を聴いたりして、よさを伸ばしていくという気持ちが高まっていました。

*** 講演会「これからの道徳教育」 上越教育大学副学長 林 泰成 先生 ***

- 道徳の教科化といじめ問題
- 「わかっているけどできない」という事態にどう対応するか。
 - 具体的な行動の仕方を教える必要がある。
 - モラル・スキル（道徳的技能）を高める
- モラルスキルトレーニング（M o S T）…道徳的善悪・正邪のフィルターを通した対人関係スキルを高める。「型はめ」的なことをしながら、もう一方で児童生徒の自主性や創造性を育てる。
- これからの道徳教育の「鍵となる視点」…
 - ①考える道徳、議論する道徳への転換
 - ②行為へつながる道徳への転換
 - ③多面的・多角的に理解する道徳への転換

